

1日目

交流セッション1（第5会場 206教室）15:30-17:00

多文化な日常生活がつなく持続可能な防災－在留外国人への支援－
秋江百合子（日本赤十字看護学会 国際活動委員会）

交流セッション2（第6会場 207教室）15:30-17:00

ACPの本質的な意味を問いなおす～「進めること」が目的になっていないか～
楠見和子（日本赤十字看護学会 臨床看護実践開発事業）

交流セッション3（第7会場 208教室）15:30-17:00

はじめての質的統合法（KJ法）－分析ステップの体験を通して－
服部智子（日本赤十字看護学会 研究活動委員会）

2日目

交流セッション4（第6会場 207教室）9:30-10:30

教育と臨床、共に汗かき「現場を強く」－医療安全共同研究から紐解く連携の道筋－
川西美佐

交流セッション5（第7会場 208教室）9:00-10:30

ジェンダーの視点から見た、日本の看護者養成の歴史
武井麻子（日本赤十字看護学会 歴史研究委員会）

交流セッション6（第6会場 207教室）10:45-11:45

新人の“はじめての一步”を支える－大学－病院協働による卒業前研修3年間の取り組み－
吉田理恵

交流セッション7（第7会場 208教室）10:45-11:45

臨床実践報告を論文投稿へとつなげよう
本田多美枝（日本赤十字看護学会 編集委員会）

交流セッション8（第5会場 206教室）13:15-14:15

看護基礎教育における実習記録電子化のプロセスと評価
川畑貴寛

交流セッション9（第6会場 207教室）13:15-14:15

災害に備える「受援力」を育てる ～熊本地震に学ぶ平時の実践と人材育成～
林裕典（日本赤十字看護学会 災害看護活動委員会）